

2022年9月30日

各位

株式会社 紀陽銀行

「SMI（堺・モビリティ・イノベーション）プロジェクト」
SMI 都心ラインの実現に向けた実証実験への協力について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、堺市（市長：永藤 英機）がおこなう、「SMIプロジェクト（以下、本プロジェクト）」の一環である、SMI 都心ラインの実現に向けた実証実験に協力いたします。

本プロジェクトは、先進技術を活用して利便性や快適性を向上させる次世代都市交通（ART）の導入や、ARTの乗降場所における滞留空間やにぎわい・交流機能の導入、次世代モビリティポートの設置などをめざしており、当行は、今年度実施される実証実験において、当行堺ビル敷地を待合休憩スペースとして提供いたします。

紀陽銀行は、今後も地方公共団体などの関係各機関と連携し地域活性化に取り組むことで、地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

記

【SMI 都心ラインの実現に向けた実証実験 概要】

実施日	2022年11月11日（金）から2022年11月13日（日）まで
内容	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転電動車両の走行実験 停留所への正着およびバリアフリー乗降実験 公共交通の安全性向上の検証 大小路停留所付近における待合休憩スペースの設置（当行が協力） 次世代モビリティの体験会 デジタルサイネージを活用した情報発信
区間	<p>堺駅 大道筋 堺東駅 堺市役所 さいかい利晶の杜（発着場所）</p> <p>自動運転区間</p> <p>（途中下車可能）</p> <p>（市小学校前） ■自動運転で既存停留所に停車させる実験</p> <p>（阪野小学校前） ■仮設の停留所を設置し、自動運転で瞬間・段差なく停車させる実験</p> <p>（大小路停留所付近） ■停留所付近への待合休憩スペースの設置</p> <p>■新たま乗りもの（次世代モビリティ）の体験や情報発信の実験</p>

以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

